

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

| | | |
|--------------|------------------------|--|
| 事業区分 | | 重点 |
| 事業名 | ユニバーサル都市・福岡の推進 | |
| 所管課 | 総務企画局企画調整部 | 背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 少子高齢化や都市のグローバル化などに伴い、本市に暮らし、訪れる様々な人々の価値観やライフスタイルに対応するまちづくりが求められている。 |
| 開始年度 | 平成23年度 | |
| 根拠法令 | なし | |
| 行政計画 | なし | |
| 事業コード | 主再 1-1-1 | |
| 分野別目標 | 一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている | 実施 成果 指標 ○ユニバーサルデザインの概念の理解度 ○ユニバーサルデザインの取組みへの評価 |
| 施策 | ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり | |
| 事業群 | ユニバーサル都市・福岡の推進 | |

【事業概要】

| | | |
|----|-------------------------|--|
| 対象 | 誰(何)を対象として行うのか | 市民 |
| | 対象をどのような状態にしたいのか | 市民一人ひとりが、ユニバーサルデザインの考え方を理解し、誰もが思いやりを持ち、すべての人にやさしいまちになっている。 |

| | | |
|----------|---------------------------------------|---|
| 実施内容(手段) | 平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか | <ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサル都市・福岡賞2016の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの理念に基づく取組みや製品開発等を募集し表彰(応募:18件, 表彰:6件) ○ユニバーサル都市・福岡フェスティバル2016の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・フェスティバル期間中に実施する市・NPO等による事業を集中的に広報(17事業, 延べ10万人以上が参加) ○体験型啓発イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインに配慮された場所を探すクイズラリーや出張授業の実施(約2,500名が参加) ○企業・飲食店舗向けセミナーの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインを取り入れている企業等による事例紹介等(54名が参加) ○市民レポーター事業 <ul style="list-style-type: none"> ・市民レポーターによる市内のユニバーサルデザインに配慮された観光案内所や商業施設等の取材及び情報発信(計8回) ○小学4年生向け副読本の作成・配布 ○庁内推進 <ul style="list-style-type: none"> ・推進本部、新規採用職員研修の実施 ○ベンチの設置普及に係る設置指針の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・市内にあるバス停付近のベンチ設置の実態調査を踏まえ、設置普及に係る設置指針を作成 ○エリアマネジメント団体と共働した都心部におけるベンチ設置管理の仕組みづくりの検討 ・警察等の関係機関との協議や実証実験の実施 |
|----------|---------------------------------------|---|

| 事業費(千円) | | | |
|----------------|------|--------|--------|
| 平成28年度決算額(見込額) | | | |
| 歳入 | 歳出合計 | 26,568 | |
| | 特定財源 | 0 | |
| | 一般財源 | 26,568 | |
| 前年度決算額・翌年度予算額 | | | |
| | 年度 | H27 | H29 |
| 歳入 | 歳出合計 | 15,349 | 10,935 |
| | 特定財源 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 15,349 | 10,935 |

【ロジックモデル・指標の達成度】

| | | | | | | |
|----------------------------|--|---|--|--|---------|-------|
| 事業フロー(ロジックモデル) | ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) | ②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) | ③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) | ④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) | | |
| | ○ユニバーサル都市・福岡賞の実施 ○ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの実施 ○市民等への啓発事業の実施 ○小学生向け副読本の作成・配布 ○職員向け研修の実施 ○都心部におけるベンチ設置管理の仕組みづくり | ○市民等が、ユニバーサル都市・福岡賞に応募する ○市民等がフェスティバルに参加する ○市民や小学生等がユニバーサル都市・福岡に触れる ○市職員がユニバーサル都市・福岡について理解し、業務に取り入れる ○まちなかにベンチが増える | ○行政だけでなく、市民・地域、企業、学校などがユニバーサルデザインの大切さについて十分に理解している。 ○行政をはじめ、市民・地域、企業、学校などで、ユニバーサル都市・福岡の実現に向けた具体的な取組みを行っている。 | ○みんながやさしい、みんなにやさしい「ユニバーサル都市・福岡」が実現し、市民の生活の質や市の魅力が向上する。 | | |
| | 指標の内容 | 実績 | 目標 | 実績 | | |
| | 活動の指標 | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 |
| | ユニバーサル都市・福岡フェスティバルの参加者数 | 目標 | 100,000 | 130,000 | 130,000 | H34年度 |
| | 実績 | 121,173 | 100,000 | 130,000 | 150,000 | |
| | 達成率 | 121.2% | 76.9% | | | |
| ユニバーサルデザインに関するイベント・講演等実施件数 | 目標 | - | 10 | 12 | H34年度 | |
| | 実績 | 10 | 22 | 12 | 12 | |
| | 達成率 | - | 220% | | | |

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

| | | |
|-------------|---------------------|---|
| 事業名 | 農山漁村地域など市街化調整区域の活性化 | |
| 所管課 | 総務企画局企画調整部 | 背景 |
| 開始年度 | 平成27年度 | |
| 根拠法令 | なし | |
| 行政計画 | 福岡市第9次基本計画 | |
| | | 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 農山漁村地域など市街化調整区域は、自然とまちの調和がとれたコンパクトな都市を形成するうえで大変重要な役割を担っているが、人口減少や高齢化の進展等に伴い、農林水産業の振興やコミュニティの維持など様々な課題を抱えており、活性化の取組みが必要となっている。 |

| 基本計画 | | | | |
|--------------|---------------------------|-------|--|---------------|
| 施策コード | 主 | 4-4-3 | | 施策成果指標 |
| | 再 | | | |
| 分野別目標 | 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている | | | |
| 施策 | まちと自然が調和した福岡型のコンパクトな都市づくり | | | |
| 事業群 | 農山漁村地域など市街化調整区域の活性化 | | | |

【事業概要】

| | |
|-------------|--|
| 対象 | 誰(何)を対象として行うのか 農山漁村地域など市街化調整区域 |
| 事業目的 | 対象をどのような状態にしたいのか ・地域において活性化に向けた取組みが進められている。 ・農山漁村地域でのビジネス展開について、事業者からの相談・提案などが行われている。 ・地域住民と事業者のネットワークが生まれ、事業化に向けたマッチングが行われている。 |

| | |
|-----------------|--|
| 実施内容(手段) | 平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ①地域主体のまちづくり活動の支援 関係部局が連携し、地域の活動や若手の会の発足に向けた支援を行った。 ②土地利用規制の緩和 平成28年6月に、地域住民の合意のもと、農林水産業や観光業など地域産業の振興に寄与する建築物の立地を可能とする土地利用規制の緩和の運用を開始した。 ③農山漁村地域活性化セミナー等の開催 地域資源を活かした農山漁村地域でのビジネスを創出する契機とするため、地域・事業者・行政が全国の農山漁村地域でのビジネスの成功事例とともに学び、交流する「セミナー・交流会」を、テーマを変え4回開催した。 ④事業者へのヒアリング等 |
|-----------------|--|

| 事業費(千円) | | |
|-----------------------|-------|--------------|
| 平成28年度決算額(見込額) | | |
| 歳出合計 | | 8,400 |
| 歳入 | 特定財源 | |
| 入 | 一般財源 | 8,400 |
| 前年度決算額・翌年度予算額 | | |
| 年度 | H27 | H29 |
| 歳出合計 | 5,590 | 10,000 |
| 歳入 | 特定財源 | |
| 入 | 一般財源 | 5,590 10,000 |

【ロジックモデル・指標の達成度】

| | | | | | |
|--------------------------|---|--|---|---|-------|
| 事業フロー(ロジックモデル) | ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) | ②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) | ③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) | ④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) | |
| | ・地域主体のまちづくり活動の支援 ・市街化調整区域の土地利用規制の緩和の実施 ・農山漁村地域活性化セミナー等の開催 ・事業者へのヒアリング等 | ・地域住民の活性化に向けた意欲が向上する。 ・セミナー・交流会を契機に、事業者の関心が高まり、また、地域において事業者の受け入れに対する理解が深まる。 ・地域住民と事業者がつながる機会が生まれる。 | ・地域において、活性化に向けた推進体制が発足し、具体的な取組みが進められている。 ・農山漁村地域でのビジネス展開に興味を持つ事業者からの相談・提案が増える。 ・地域住民と事業者とのネットワークが生まれ、事業化へ向けたマッチングが行われている。 | ・地域資源を活かした新たなビジネスが生まれ、農林水産業や観光業の振興など、地域の活性化が図られる。 ・新たなビジネスが地域の雇用を生み、定住人口が増加する。 | |
| | 指標の内容 | 実績 | 目標 | 実績 | |
| | 活動の指標 | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 |
| 地域において実施される会合等への参加件数 | 目標 | 6 | 6 | - | H 年度 |
| | 実績 | 6 | 12 | 6 | - |
| | 達成率 | 100% | 200% | - | - |
| | 目標 | - | - | 4 | - |
| セミナー・交流会、マッチングイベント等の開催件数 | 実績 | - | - | 4 | - |
| | 達成率 | - | - | 100% | - |
| | 目標 | - | - | - | 3 |

| | | | | | | | |
|-------------------|----------------------|-----------|--------------|--------------|--------------|-------------|------|
| 成果の指標(KPI) | 指標の内容 | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 | |
| | 地域における活性化に向けた推進体制の発足 | 目標 | - | - | 1 | - | H 年度 |
| | | 実績 | - | - | 2 | - | - |
| | | 達成率 | - | - | 200.0% | - | - |
| 地域と事業者とのマッチング支援数 | 目標 | - | - | - | - | H 年度 | |
| | 実績 | - | - | 1 | 2 | - | |
| | 達成率 | - | - | - | - | - | |

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

| | | | |
|------|-------------|----|------------------------------------|
| 事業名 | 都心のまちづくりの推進 | | |
| 所管課 | 総務企画局企画調整部 | 背景 | 事業を始めた理由(きっかけ)は何か |
| 開始年度 | 平成17年度 | | 福岡都心部の更なる賑わい創出や魅力向上をおこなう必要性があったため。 |
| 根拠法令 | なし | | |
| 行政計画 | なし | | |

| 基本計画 | | | | |
|-------|---------------------------|-------|--|--------|
| 施策コード | 主 | 4-6-2 | | 施策成果指標 |
| | 再 | | | |
| 分野別目標 | 人と地球にやさしい、持続可能な都市が構築されている | | | |
| 施策 | ストックの活用による地区の価値や魅力の向上 | | | |
| 事業群 | エリアマネジメントの推進 | | | |

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 対象 | 誰(何)を対象として行うのか |
| | 都心部 |
| 事業目的 | 対象をどのような状態にしたいのか |
| | 官民共働により、都心部の魅力や回遊性の向上、美しい景観の形成、安全・安心の都心空間が創られている。 |

| | |
|----------|---|
| 実施内容(手段) | 平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか |
| | 天神地区・博多地区において、地域・企業などが会員となって、魅力的なイベントの実施、回遊性向上や来街者のおもてなし、まちの美化、防犯・防災活動等のまちづくり活動を実施しているエリアマネジメント団体(天神地区: We Love 天神協議会、博多地区: 博多まちづくり推進協議会)との共働により、都心部のにぎわい創出や魅力の向上、課題解決などのまちづくりに取り組んだ。 |

| 事業費(千円) | | |
|----------------|------|--------------------|
| 平成28年度決算額(見込額) | | |
| | 歳出合計 | 24,365 |
| 歳入 | 特定財源 | 9,600 |
| | 一般財源 | 14,765 |
| 前年度決算額・翌年度予算額 | | |
| | 年度 | H27 H29 |
| | 歳出合計 | 24,085 24,180 |
| 歳入 | 特定財源 | 9,600 9,600 |
| | 一般財源 | 14,485 14,580 |

【ロジックモデル・指標の達成度】

| | | | | | |
|--------------------------------|------------------------------|---|---|---------------------------------------|------|
| 事業フロー(ロジックモデル) | ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) | ②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) | ③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) | ④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) | |
| | エリアマネジメント団体のまちづくり事業に対し支援を行う。 | エリアマネジメント団体による、まちづくりイベント、集客促進活動、安全安心・環境向上活動が進む。 また、エリアマネジメント団体の自主財源が確保される。 | 福岡都心部の価値や魅力の向上とエリアマネジメント団体(会員企業)の運営の改善の好循環が生まれる(エリアマネジメント団体の活動が活発になり、自立的に運営できるようになる)。 | 福岡都心部の価値や魅力が高まり続け、福岡市全体の競争力、集客力を牽引する。 | |
| | 活動の指標 | 成果の指標(KPI) | | | |
| | 指標の内容 | 指標の内容 | | | |
| | 年度 | 実績 | | 目標 | |
| | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 | |
| エリアマネジメント団体数 | 目標 | 2 | 2 | 2 | H 年度 |
| | 実績 | 2 | 2 | | - |
| | 達成率 | 100% | 100% | | - |
| | 目標 | | | | H 年度 |
| | 実績 | | | | |
| | 達成率 | | | | |
| | 年度 | 実績 | | 目標 | |
| | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 | |
| 福岡都心部は賑わいがあり訪れたい魅力があると感じる市民の割合 | 目標 | 80 | 80 | 80 | H 年度 |
| | 実績 | 79 | 81.2 | | - |
| | 達成率 | 98.8% | 101.5% | | - |
| | 目標 | | | | H 年度 |
| | 実績 | | | | |
| | 達成率 | | | | |

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

| | | |
|------|------------------|--|
| 事業名 | 産学官民連携による国際競争力強化 | |
| 所管課 | 総務企画局企画調整部 | 背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か アジアと日本の玄関口であり、暮らしの質の高さが世界から評価されている福岡であるが、今後は人口減少などにより経済成長が衰退する見込みがある。今後福岡の活力を維持強化していくためには、産学官民が一体となって、国際競争力を高め、地域経済をグローバル化することで、アジアの内需を取り込んでいく必要がある。 |
| 開始年度 | 平成23年度 | |
| 根拠法令 | なし | |
| 行政計画 | なし | |

| 基本計画 | | | |
|--------|--------------------------|-------|--|
| 施策コード | 主 | 6-1-1 | |
| | 再 | | |
| 分野別目標 | 経済活動が活発で、たくさんの働く場が生まれている | | |
| 施策 | 産学官連携による、知識創造型産業の振興 | | |
| 事業群 | 産学官連携の推進 | | |
| 施策成果指標 | なし | | |

【事業概要】

| | |
|------|--|
| 対象 | 誰(何)を対象として行うのか 福岡都市圏内外の産学官民 |
| 事業目的 | 対象をどのような状態にしたいのか 産学官民が一体となって、策定した地域戦略を推進することで、国際競争力を備えたアジアで最も持続可能な地域となっている。 |

| | |
|----------|--|
| 実施内容(手段) | 平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか 産学官民が一体となり設立された福岡地域戦略推進協議会(FDC)において、国際競争力強化に資する成長戦略を推進するため、5部会(観光、スマートシティ、食、人材、都市再生)を設置しプロジェクトの検討・事業化に取り組んだ。 |
|----------|--|

| 事業費(千円) | | |
|----------------|--------|--------|
| 平成28年度決算額(見込額) | | |
| 歳出合計 | 39,400 | |
| 歳入 特定財源 | 0 | |
| 歳入 一般財源 | 39,400 | |
| 前年度決算額・翌年度予算額 | | |
| 年度 | H27 | H29 |
| 歳出合計 | 39,400 | 35,000 |
| 歳入 特定財源 | 0 | 0 |
| 歳入 一般財源 | 39,400 | 35,000 |

【ロジックモデル・指標の達成度】

| 事業フロー(ロジックモデル) | ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・福岡地域戦略協議会が策定した地域戦略を推進するために、5つの部会ごとにプロジェクトを検討する。 ・イベントや情報発信を通じて、市民との共有を重視しながら戦略を推進していく。 | ②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・5部会が核となり、コンソーシアムや事業体が組成されプロジェクトが進められる。 ・市民との共有が実現することにより戦略がより推進される。 | ③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) 次々とプロジェクトが生みだされることで、域内外から人と投資が呼び込まれ、成長戦略目標が達成される。 | ④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) 福岡都市圏が東アジアのビジネスハブとして、日本・中国・韓国・台湾などのビジネス交流拠点となり、多様な人材が訪れ、働き、暮らす、国際競争力を備えたアジアで最も持続可能な地域となっている。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|--|--|-------|------|--|----|-------|-------|-------|------|-----------------------------|----|----|----|----|-------|----|--|--|----|-----|--|--|----|-------|----|--|--|--|------|----|--|--|--|--|-----|--|--|--|--|--|-------|----|--|--|----|--|----|-------|-------|-------|------|------------|----|---|---|---|-------|----|--|--|-----|-----|--|--|--|-----------|----|---|---|---|-------|----|--|--|---|-----|--|--|--|-----------|----|---|---|---|-------|----|--|--|---|-----|--|--|--|
| | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">活動の指標 部会などによるプロジェクトの創出支援</td> <td>目標</td> <td>継続</td> <td>継続</td> <td rowspan="3">継続</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td>継続</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">活動の指標</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>H 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 指標の内容 | 実績 | | | 目標 | | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 | 活動の指標 部会などによるプロジェクトの創出支援 | 目標 | 継続 | 継続 | 継続 | H32年度 | 実績 | | | 継続 | 達成率 | | | 継続 | 活動の指標 | 目標 | | | | H 年度 | 実績 | | | | | 達成率 | | | | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th colspan="3">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果の指標(KPI)</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">-</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">雇用増加(+万人)</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">-</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人口増加(+万人)</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">-</td> <td>H32年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | 指標の内容 | 実績 | | | 目標 | | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 | 成果の指標(KPI) | 目標 | - | - | - | H32年度 | 実績 | | | 2.8 | 達成率 | | | | 雇用増加(+万人) | 目標 | - | - | - | H32年度 | 実績 | | | 6 | 達成率 | | | | 人口増加(+万人) | 目標 | - | - | - | H32年度 | 実績 | | | 7 | 達成率 | | | |
| | 指標の内容 | | 実績 | | | 目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動の指標 部会などによるプロジェクトの創出支援 | 目標 | 継続 | 継続 | 継続 | H32年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 実績 | | | | 継続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 達成率 | | | | 継続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 活動の指標 | 目標 | | | | H 年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 実績 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 指標の内容 | 実績 | | | 目標 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果の指標(KPI) | 目標 | - | - | - | H32年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 実績 | | | | 2.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 雇用増加(+万人) | 目標 | - | - | - | H32年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 実績 | | | | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 人口増加(+万人) | 目標 | - | - | - | H32年度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 実績 | | | | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

| | | |
|---|-----------------------------|-----------|
| 事業名 | オープンデータの活用推進 | |
| 所管課 | 総務企画局ICT戦略室ICT戦略課 | 背景 |
| 開始年度 | 平成25年度 | |
| 根拠法令 | なし | |
| 行政計画 | 政策推進プラン, 行財政改革プラン, 情報化推進プラン | |
| 事業を始めた理由(きっかけ)は何か | | |
| ビッグデータ・オープンデータが十分に活用されていない状況のもと、市民の利便性向上や新産業創出・経済活性化につながるよう、福岡市、千葉市、奈良市及び武雄市の首長が協議会を立ち上げ、他都市に先行して、課題の検討とともに実例の創出に取り組むこととしたもの。 | | |

| 基本計画 | | | | |
|--------------|-------------------------------|-------|--|---------------|
| 施策コード | 主 | 7-1-2 | | 施策成果指標 |
| | 再 | | | |
| 分野別目標 | 創造的活動が活発で、多様な人材が新しい価値を生み出している | | | |
| 施策 | 新たな挑戦を応援するスタートアップ都市づくり | | | |
| 事業群 | 創業しやすい都市づくり | | | |

【事業概要】

| | |
|-------------|---|
| 対象 | 誰(何)を対象として行うのか |
| | オープンデータの活用を望む市民・企業 |
| 事業目的 | 対象をどのような状態にしたいのか |
| | ①市民や企業が、オープンデータを有効に活用し、新事業や官民共働の新サービスを創出する。 ②二次利用しやすく、安心して活用できる形で公共データを広く公開する(オープンデータ化)。 |

| | |
|-----------------|---|
| 実施内容(手段) | 平成28年度, 目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか |
| | ①オープンガバメント推進協議会 公開シンポジウム(横須賀市, 11月)やRESAS研修(自治体職員向け), アプリの提供・改修を行った。 ②自治体オープンデータサイトの運用 二次利用可能な行政データを提供するオープンデータサイト(他自治体と共同利用)の運用を行った。 ③公開型GISシステムの運用 福岡市Webまっぷの運用を行った。 ④まちかど安全ガードアプリ「けいご君」運用 まちかど安全ガードアプリ「けいご君」(Android版・iPhone版)の運用を行った。 ⑤ビッグデータ&オープンデータ研究会in九州(BODIK) オープンデータ活用に関するアイデアソン等のイベントを開催したほか、研究機関や他都市と連携し、データの標準化などオープンデータの共同提供に向けた検討を行った。 |

| 事業費(千円) | | |
|-----------------------|--------|--------|
| 平成28年度決算額(見込額) | | |
| 歳出合計 | | 3,825 |
| 歳入 | 特定財源 | 0 |
| | 一般財源 | 3,825 |
| 前年度決算額・翌年度予算額 | | |
| | 年度 | H27 |
| | H29 | |
| 歳出合計 | 16,811 | 4,229 |
| 歳入 | 特定財源 | 0 |
| | 一般財源 | 16,811 |
| | | 4,229 |

【ロジックモデル・指標の達成度】

| | | | | | | |
|-----------------------|--------------|---|--|---|---|-----------|
| 事業フロー(ロジックモデル) | | ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) | ②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) | ③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) | ④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・活用アイデアコンテストの実施 ・シンポジウムの開催 ・活用における諸課題整理と活用方策の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・活用機運の醸成 ・実現可能な活用アイデアの収集 ・活用のための諸課題に対する対応策 ・福岡市にふさわしい活用方策 | <ul style="list-style-type: none"> ・二次利用可能な行政データのオープン化が進み、福岡市発の先行事例が生じる。 | <ul style="list-style-type: none"> 市民・企業が、オープンデータを様々な分野で有効活用し、新産業を創出したり、官民共働のもと新サービスが提供され、スタートアップ都市づくりに貢献している。 | |
| | 活動の指標 | 指標の内容 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 |
| | | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 |
| 成果の指標(KPI) | オープンデータの活用事例 | 目標 | 3 | 3 | H 年度 | |
| | | 実績 | 6 | 1 | 3 | - |
| | | 達成率 | 200.0% | 33.3% | | |
| | | 目標 | 14,000 | 14,000 | | H 年度 |
| データのダウンロード数(月平均) | データ | 実績 | 21,838 | 26,825 | 31,000 | - |
| | | 達成率 | 156.0% | 191.6% | | |
| | | 目標 | | | | H32年度 |
| | | 実績 | | | 1,650 | 2,100 |

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

| | | |
|-------------|------------------------|---|
| 事業名 | 産業の国際競争力の強化(総合特区制度の推進) | |
| 所管課 | 総務企画局企画調整部 | 背景 |
| 開始年度 | 平成23年度 | |
| 根拠法令 | 総合特別区域法 | |
| 行政計画 | | |
| | | 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 国において、産業の競争力強化を目的とした総合特別区域法が策定され、同法に基づき区域指定を受けた。 (福岡県・北九州市と共同提案) H23.9: 地域協議会の設立 H23.12: 総合特区の区域指定 |

| 基本計画 | | | | |
|--------------|--------------------------|-------|--|---------------|
| 施策コード | 主 | 8-3-1 | | 施策成果指標 |
| | 再 | | | |
| 分野別目標 | 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている | | | |
| 施策 | 国際的なビジネス交流の促進 | | | |
| 事業群 | 国際ビジネスの振興 | | | |

【事業概要】

| | |
|-------------|--|
| 対象 | 誰(何)を対象として行うのか 環境を軸とした産業 |
| 事業目的 | 対象をどのような状態にしたいのか アジアの活力を取り込み、環境を軸とした産業の競争力を強化する。 |

| | |
|-----------------|---|
| 実施内容(手段) | 平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○総合特区制度の支援策に関する国との協議の実施 ○グリーンアジア国際戦略総合特区地域協議会の運営 ○総合特区制度の支援策にあわせた福岡市独自の取組みの実施、市税の優遇や財政支援などの支援策の拡充等 ○特区制度や支援措置などの活用を促進するため、フォーラムやセミナーを開催 |
|-----------------|---|

| 事業費(千円) | | |
|-----------------------|-------------|------------------|
| 平成28年度決算額(見込額) | | |
| | 歳出合計 | 1,227 |
| 歳入 | 特定財源 | |
| | 一般財源 | 1,227 |
| 前年度決算額・翌年度予算額 | | |
| | 年度 | H27 H29 |
| | 歳出合計 | 1,726 1,800 |
| 歳入 | 特定財源 | |
| | 一般財源 | 1,726 1,800 |

【ロジックモデル・指標の達成度】

| | | | | |
|-----------------------|---|---|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 事業フロー(ロジックモデル) | ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) | ②結果アウトプット (活動の結果, どうなるのか) | ③中間アウトカム (その結果, 対象はどうなるのか) | ④最終アウトカム (その結果, 市としてどうなるのか) |
| | ○産学官で構成するグリーンアジア国際戦略総合特区地域協議会への参画 ○事業者の事業計画などを踏まえた特区計画の変更等 | ○国による規制改革や財政支援等による事業環境の改善 ○特区計画の変更等により、事業者の制度活用に向けた環境を整備 | ○事業者による総合特区制度の支援策を活用した設備投資額の拡大 | ○投資の促進による産業の国際競争力強化、雇用の確保 |
| | 指標の内容 | 実績 | 実績 | 実績 |
| | (設定に馴染まない) | H27年度 H28年度 H29年度 | H27年度 H28年度 H29年度 | H27年度 H28年度 H29年度 |
| 活動の指標 | 目標 | 最終年度 | 最終年度 | 最終年度 |
| | H 年度 | | | H 年度 |
| | 実績 | | | |
| | 達成率 | | | |
| 成果の指標(KPI) | 目標 | 最終年度 | 最終年度 | 最終年度 |
| | H 年度 | | | H 年度 |
| | 実績 | | | |
| | 達成率 | | | |

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

| | | |
|-------------|------------------|--|
| 事業名 | 留学生支援・ネットワーク構築事業 | |
| 所管課 | 国際企画課 | 背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 地域の競争力を強化し活性化を図るうえで、地域や我が国を支える人材として、また、世界で活躍できる高度人材、あるいは出身国と福岡との橋渡しをする人材として、留学生が重要な存在となっている。そこで、優秀な留学生の本市への集積を促進するとともに、本市留学経験者を含め、地域における活用を図る必要があったため。 |
| 開始年度 | 昭和63年度 | |
| 根拠法令 | なし | |
| 行政計画 | なし | |

| 基本計画 | | | |
|--------------|--------------------------|---------------|---|
| 施策コード | 主 | 8-5-2 | |
| | 再 | | |
| 分野別目標 | 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている | | |
| 施策 | グローバル人材の育成と活躍の場づくり | | |
| 事業群 | 留学生支援・外国人ネットワークの構築 | | |
| | | 施策成果指標 | ○就労目的の在留資格を持つ外国人の数 (H28:3,200, H34:4,000人) |

【事業概要】

| | | |
|-------------|-------------------------|--|
| 対象 | 誰(何)を対象として行うのか | 留学生・既卒留学生 帰国した留学生 日本人大学生 市民 地元企業 |
| | 対象をどのような状態にしたいのか | 留学生をグローバル人材として育成し、活用・定着を促進するとともに、福岡ゆかりのグローバル人材のネットワークの強化・拡大を図り、「グローバル人材が集い・活躍するまち」をめざしていくことで、都市としての国際競争力において優位性を発揮し、都市間競争に打ち勝っていく。 |
| 事業目的 | | |

| | | |
|-----------------|---------------------------------------|--|
| 実施内容(手段) | 平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか | <p>○留学生奨学金事業【補助金】 福岡市レインボー留学生奨学金により、留学生の経済面を支援し、学習環境の整備と優秀な人材の誘致を行った。(実施主体:福岡よかトピア国際交流財団)</p> <p>○「グローバルコミュニティFUKUOKA推進プラットフォーム」設立 留学生をグローバル人材として育成し、活用・定着を推進することを目的として、産学官の計16団体による連携体制を設立した。</p> <p>○既卒留学生を対象とした有償の長期就業体験(インターンシップ)事業【委託】 地元企業への就職を希望する既卒留学生と、優秀な留学生の受け入れを希望する地元企業とのマッチングを行い、採用試験を兼ねた長期就業体験を実施した。</p> <p>○「NEEDs&SEEDs ～外国人留学生×地元企業～」の開催【委託】 留学生と地元企業を対象としたイベントを開催し、留学生向け就職準備セミナーや、地元企業向け留学生採用セミナー、留学生と地元企業との交流会等を実施した。</p> <p>○「福岡県留学生サポートセンター」における海外広報、就職支援【負担金】 経済界、大学及び県などと共同で、海外広報や留学生への就職支援を行った。</p> <p>○福岡市留学生経験者を含む留学生とのネットワーク維持・強化 留学生交流サイトやFacebookページを活用し、奨学金受給者などの留学生とのネットワークの強化・拡充を図った。</p> <p>○スタートアップ奨学金事業【補助金】 スタートアップ奨学金により、日本人大学生の留学を促進し、グローバル人材として育成するとともに、地元への定着と地域経済の活性化を図った。(実施主体:福岡よかトピア国際交流財団)</p> |
| | | |

| 事業費(千円) | | | | |
|-----------------------|-------------|-------------|--------|-----|
| 平成28年度決算額(見込額) | | | | |
| 歳入 | 歳出合計 | 22,240 | | |
| | 特定財源 | 2,789 | | |
| | | 一般財源 | 19,451 | |
| 前年度決算額・翌年度予算額 | | | | |
| | | 年度 | H27 | H29 |
| 歳入 | 歳出合計 | 29,372 | 21,988 | |
| | 特定財源 | 0 | 0 | |
| | 一般財源 | 29,372 | 21,988 | |

【ロジックモデル・指標の達成度】

| | | | | | | |
|-----------------------|--|---|---|---|-------|------|
| 事業フロー(ロジックモデル) | ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) | ②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) | ③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) | ④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・留学生奨学金事業を行う。 ・留学生と市民の交流を促進する。 ・留学生・既卒留学生の地元企業への就職を支援する。 ・福岡県留学生サポートセンターを通じ、海外広報、就職支援を行う。 ・福岡市への留学経験者を含む留学生とのネットワークの構築を行う。 ・日本人大学生の留学を促進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金を受給する留学生の生活が安定する。 ・留学生に対する市民の理解と協力を得られる。 ・留学先に福岡市を選択する留学生が増加する。 ・留学生奨学金事業により、留学生の学習環境を整備し、優秀な人材の誘致ができる。 ・帰国した留学生とのネットワークを維持できる。 ・日本人大学生がグローバル人材として育成される。 | <ul style="list-style-type: none"> ・福岡市への留学経験者が、福岡市に対して好意的な、良き理解者となる。 ・福岡市で就職する留学生が増加する。 ・地域での留学生の人材活用を行うことができる。 ・日本人大学生がグローバル人材として福岡市で就職または創業する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル人材として留学生を活用し、定着した優秀な人材が福岡市で活躍している。 ・福岡市がグローバル人材の結節点として機能する。 ・福岡市が「グローバル人材が集い・活躍するまち」となっている。 | | |
| | 活動の指標 | 指標の内容 | 実績 | 目標 | | |
| | 福岡市内の大学・短大に在籍する留学生数 | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 |
| | | 目標 | 3,554 | 4,079 | H32年度 | |
| 実績 | | 3,336 | 3,294 | 3,854 | 5,533 | |
| 達成率 | | 93.9% | 80.8% | | | |
| 成果の指標(KPI) | 指標の内容 | 実績 | 目標 | | | |
| 連絡の取れる留学生数・留学経験者数 | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 | |
| | 目標 | 562 | 734 | H32年度 | | |
| | 実績 | 406 | 461 | 596 | 1,000 | |
| | 達成率 | 72.2% | 62.8% | | | |

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

| | | |
|------|----------------|---|
| 事業名 | 国際貢献・国際協力の推進 | |
| 所管課 | 国際連携課 国際企画課 | 背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か アジアの諸都市は、急激な経済成長に伴う都市問題に直面している。一方、福岡市は、「住み良いまちづくり」のノウハウを持っているため、都市問題解決に寄与することにより、国際貢献・協力を図るもの。 |
| 開始年度 | 平成24年度 | |
| 根拠法令 | なし | |
| 行政計画 | なし | |

| 基本計画 | | |
|-------|--------------------------|--|
| 施策コード | 主 8-6-1 再 | 施策成果指標 ○視察・研修受入人数 (H28:970人, H34:1,700人) |
| 分野別目標 | 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている | |
| 施策 | アジアの諸都市などへの国際貢献・国際協力の推進 | |
| 事業群 | 国際貢献・国際協力の推進 | |

【事業概要】

| | |
|------|---|
| 対象 | 誰(何)を対象として行うのか 海外の諸都市 |
| | 対象をどのような状態にしたいのか 海外からの研修生受入れや職員の海外派遣による国際貢献・国際協力を推進する。これらの取組みにより、福岡市の知名度や存在感を向上させるとともに、海外諸都市との関係を構築し、官民連携したビジネス展開をめざすもの。 |
| 事業目的 | |

| | |
|----------|--|
| 実施内容(手段) | 平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか <○国際貢献・ビジネス展開 ●国際研修・視察受入> ○国際ビジネス展開プラットフォーム(PF)会員企業と展示会(シンガポール)に共同出展(H28.7) ○ヤンゴン市長以下幹部職員を福岡市へ招聘しまちづくり技術を紹介するとともに、PF会員企業との交流会を実施(H28.12) ○PF会員企業向け「情報交流セミナー」を開催(H28.12) ○福岡市独自でヤンゴン市へ技術職員を2年間の長期派遣実施(H29.2) ○PF会員企業向けにヤンゴン市ビジネスマッチングツアーを実施(H29.2) ○(クリア)自治体職員協力交流事業(ヤンゴン市職員受入) ○大使館、JICAなど国際協力に係る関係機関等との協議・連携強化 ○PF会員企業のJICA中小企業支援メニュー採択支援 ●海外からの視察・研修生受入 |
| | |

| 事業費(千円) | | | |
|----------------|------|--------|--------|
| 平成28年度決算額(見込額) | | | |
| 歳出合計 | | 30,337 | |
| 歳入 | 特定財源 | | |
| | 一般財源 | | 30,337 |
| 前年度決算額・翌年度予算額 | | | |
| | 年度 | H27 | H29 |
| 歳出合計 | | 17,037 | 33,035 |
| 歳入 | 特定財源 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 17,037 | 33,035 |

【ロジックモデル・指標の達成度】

| | | | | | | |
|-------------------------|--|--|--|---|-------|-------|
| 事業フロー(ロジックモデル) | ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) | ②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) | ③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) | ④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) | | |
| | ○国際貢献・ビジネス展開 ・「国際ビジネス展開プラットフォーム」の運営 ・関係構築が進んだ地域を対象とした海外ビジネス展開活動 ・海外への職員派遣継続、及び海外諸都市の情報収集 ●国際視察・研修受入 ・国際会議、国際機関等を通じた視察・研修受入事業の広報活動 ・視察・研修受入による海外諸都市の情報収集及びニーズ把握 | ○国際貢献・ビジネス展開 ・「国際ビジネス展開プラットフォーム」会員企業と相手地域とのビジネスマッチング ・JICA等関連機関との関係強化 ・ODA案件受注に向けたノウハウの蓄積 ●国際視察・研修受入 ・海外諸都市からの視察・研修の申し込みが増加 ・海外諸都市のニーズに沿った視察・研修の実施 | ○国際貢献・ビジネス展開 ・ODA等の案件形成 ●国際視察・研修受入 ・視察・研修受入人数の増加 ・福岡市の「住み良いまちづくり」のノウハウが海外諸都市の都市問題解決に寄与している | ○国際貢献・ビジネス展開 ・官民連携した海外ビジネス展開 →地場企業等のビジネス機会の創出 ●国際視察・研修受入 ・福岡市の「住み良いまちづくり」のノウハウを活かした国際貢献・国際協力の取組みにより、福岡市の国際的な知名度や存在感が向上している。 | | |
| | 指標の内容 | 実績 | 目標 | 実績 | 目標 | |
| | 活動の指標 | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 |
| プラットフォームのイベント件数(案件受注活動) | 目標 | - | 3 | | H年度 | |
| | 実績 | - | 3 | 3 | - | |
| | 達成率 | - | 100% | | - | |
| | 国際会議・国際機関等を通じた広報活動件数 | 目標 | - | 5 | 5 | H年度 |
| | 実績 | - | 5 | 5 | - | |
| | 達成率 | - | 100% | | - | |
| 成果の指標(KPI) | 地元企業の海外ビジネス展開件数(累計) | 目標 | - | 1 | | H年度 |
| | | 実績 | - | 2 | 3 | - |
| | | 達成率 | - | 200% | | - |
| | | 目標 | 880 | 970 | | H34年度 |
| | 実績 | 662 | 710 | 1,070 | 1,700 | |
| | 達成率 | 75.2% | 73.2% | | | |

事務事業マネジメントシート（平成28年度実施分）

事業区分 重点

| | | |
|------|----------------|---|
| 事業名 | 在住外国人の生活環境整備事業 | |
| 所管課 | 国際企画課 | 背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 国際化の進展に伴い、在住外国人の生活情報の収集・提供を中心に事業開始。生活者としての外国人が増加しており、これまでの生活情報の提供等だけでなく、地域の国際交流を促進していく必要がある。 |
| 開始年度 | 昭和61年度 | |
| 根拠法令 | なし | |
| 行政計画 | なし | |

| 基本計画 | | | 施策成果指標 ○在住外国人の住みやすさ評価(福岡市は「住みやすい」と感じる在住外国人の割合) (H32: 65%) ○福岡市に住んでいる外国人の数 (H28:29,000人, H34: 39,000人) |
|-------|--------------------------|-------|---|
| 施策コード | 主 | 8-8-1 | |
| | 再 | | |
| 分野別目標 | 国際競争力を有し、アジアのモデル都市となっている | | |
| 施策 | アジアをはじめ世界の人にも暮らしやすいまちづくり | | |
| 事業群 | 外国人にも住みやすく活動しやすいまちづくり | | |

【事業概要】

| | |
|----|--|
| 対象 | 誰(何)を対象として行うのか ・在住外国人(生活者としての外国人) ・在住外国人の支援者(日本語ボランティア等) ・日本人市民 |
| | 対象をどのような状態にしたいのか ・在住外国人が、日本の生活ルール・マナーを学び、日本で生活しやすくなる。 ・在住外国人支援を行う市民が増える。 ・日本人市民が、海外の多様な文化を理解し外国人とも隔たり無く交流できる。 |

| | |
|----------|--|
| 実施内容(手段) | 平成28年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○情報提供等 ・ウェルカムキット(転入外国人への生活便利帳等)の配付[全区役所] ・在住外国人への生活ルール・マナー紹介等[国際交流財団] ・地域の外国語FM放送局を活用した情報提供[国際部・国際交流財団] ○窓口支援 ・語学ボランティアを通訳として区窓口に派遣[国際交流財団] ○日本語習得の促進 ・市民センターにおける日本語学習支援[東・中央・城南・早良・西区] ・市主催及びボランティアによる53の日本語教室を案内する「日本語クラスマップ」の作成[国際交流財団] ・日本語ボランティアを対象とした研修[国際交流財団] ○地域住民と外国人との共生 ・公民館等を拠点とした地域の国際交流の促進[各区、国際交流財団、国際部]等により、在住外国人にも住みやすく活動しやすい環境づくりを行った。 |
|----------|--|

| 事業費(千円) | | | |
|----------------|--------|--------|--------|
| 平成28年度決算額(見込額) | | | |
| 歳出合計 | 22,845 | | |
| 歳入 | 特定財源 | 0 | |
| | 一般財源 | 22,845 | |
| 前年度決算額・翌年度予算額 | | | |
| | 年度 | H27 | H29 |
| 歳出合計 | 23,058 | | 24,515 |
| | 歳入 | 特定財源 | 0 |
| 一般財源 | | 23,058 | 24,515 |

【ロジックモデル・指標の達成度】

| | | | | | | |
|-------------------|---|--|---|--|-------|-------|
| 事業フロー(ロジックモデル) | ①活動アウトプット (どんな活動を行うのか) ・生活情報や生活ルール・マナー等の情報提供 ・日本語教室、日本語ボランティア養成講座を開催。 ・公民館等を拠点とした地域の国際交流を促進する事業を実施。 ・区役所への語学ボランティアの派遣。 | ②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか) ・在住外国人に生活情報が届き、生活ルール・マナーを学ぶ。 ・在住外国人が日本語を学ぶ。日本語ボランティアが増える。 ・地域住民と生活者としての外国人の交流が始まる。 ・区役所の外国人対応がスムーズになる。 | ③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか) ・外国人が生活ルール・マナーを守り、日本の生活・文化に慣れる。 ・外国人が日本語を習得し、日本人とコミュニケーションが取れるようになる。 ・外国人と地域住民との交流が進む。(地域とのトラブルが避けられる。) ・外国人が区役所を利用しやすくなる。 | ④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか) ・日本人と外国人の相互理解が進み、日本人にも外国人にも住みやすく活動しやすいまちになる。 ・外国人にも住みやすいまちは、高度人材及び留学生の誘導、定着を下支えし、福岡市の国際化、活性化につながる。 | | |
| | 活動の指標 | 指標の内容 | 実績 | 目標 | | |
| | 日本語ボランティア養成講座の受講者数 | 年度 | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 最終年度 |
| | | 目標 | 70 | 70 | | H32年度 |
| | 地域での国際交流に関する事業の実施 | 実績 | 0 | 35 | 70 | 70 |
| 達成率 | | 0% | 50% | | | |
| 地域での国際交流に関する事業の実施 | 目標 | — | 2 | | H32年度 | |
| | 実績 | 1 | 3 | 4 | 7 | |
| 達成率 | — | 150% | | | | |